

Q29 アセスメントや指導方法、評価等、専門的なことを相談したい時があります。



特別支援学級担任

アセスメントと指導計画があつているのか、評価のポイントや次の段階へいく見取り等、専門的なことを相談したい時があります…。



通級指導教室担当

構音障がい等、専門的なことが分からずに、どこか相談できるところはあるのでしょうか…。



特別支援学級担任

他県のように自立活動を担当する(センター的機能を有する)分掌や学校がなく、どこを頼るべきか迷います。

A まずは近隣の特別支援学校、児童生徒が療育等を利用している場合は、その機関の担当者に、その他、大分県教育センターに、相談することができます。

アセスメントや目標の設定、評価等の他、日々の授業や指導・支援に関して相談できる機関として、まず**近隣の特別支援学校**があります。特別支援学校は、センター的機能を担い、小・中学校の支援を行うことが責務となっています。児童生徒の様子を参観し、指導・支援の方策について相談に乗ってくれます。**校内の特別支援教育コーディネーターを通じて、巡回相談を依頼**しましょう。日時の調整がつけば、年間何度でも利用できますので、気軽に申込をしてください。

また、言語障がいや肢体不自由、弱視、難聴等、児童生徒が医療機関で療育等を利用している場合には、**保護者に相談して受診に同行**させてもらい、**療育の様子を見学**したり、**療育を担当している言語聴覚士や理学療法士、作業療法士等に相談**したりすることができます。さらには、自立活動の指導に療育の内容を取り入れ、連携して指導を進めることも考えられます。構音指導や歩行訓練等、専門性のある教員が少ない分野においては、児童生徒が利用している機関と連携することが、効果的です。

その他、先生方の相談機関として
○大分県教育センター 特別支援教育部
があります。こちらも活用できます。



[大分県教育センター
先生方の相談窓口\(特別支援教育部\)](#)

連携のツールとして個別の教育支援計画があります。自立活動で設定した目標は、個別の教育支援計画の目標と重なる部分が多いと思われます。個別の教育支援計画を、連携の際の資料や次年度への引継ぎ資料として、有効に活用しましょう。

